

令和7年度 第1回

ゼロカーボン研究会

◆ 開催日

2025年 6月2日(月)

◆ 時間

13:00-15:00

(受付開始：12:30-)

◆ 会場

ちゅうぎん駅前ビル4階
(岡山市北区本町2-5)

◆ 定員

現地：50名、WEB：100名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

環境対策は気候変動等のリスク対応だけでなく、企業価値向上や成長へ繋がる大きな機会になり得ます。本研究会では企業が脱炭素に取り組む意義のほか、具体的な戦略やアクションを学ぶことができます。実践的な知識が得られる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

プログラム

1. 開会挨拶 13:00 - 13:05

2. 企業の事例の紹介 13:05 - 13:45

「持続可能な社会の実現に向けた“個人”の重要性と企業価値との関係性」

宮田 吉朗 / NTTコミュニケーションズ株式会社

「カーボンフットプリント起点の価値創造に向けて」

船倉 隆央 / 国立大学法人岡山大学

3. 脱炭素に向けた補助事業等の紹介 13:45 - 14:00

4. CO2排出量算定ツールの紹介 14:00 - 14:30

5. CO2排出量算定ツールの体験会 (現地参加のみ)

申込方法

QRコードまたはURLからお申込みください。

申込期限：5月29日(木)



<https://forms.gle/9DJC5KLSfonzygcE7>

講師紹介

「持続可能な社会の実現に向けた“個人”の重要性和 企業価値との関係性」

持続可能な社会の実現に向けた個人の行動変容の重要性や現状抱える課題、
また企業として取り組むべき意義についてご説明します。



講師

宮田 吉朗 / NTTコミュニケーションズ株式会社
ビジネスソリューション本部 ソリューションサービス部 担当課長

1999年NTTへ入社。システムエンジニアとしてECサイトやセキュリティシステムの構築、製造業向けDXのソリューションコンサルタントとして活動。その後、GX領域の事業推進に参画し、企業向けに従業員の行動変容を促す支援を提供。企業間や地域を巻き込んだ取り組みを通じて、企業と社会のサステナビリティ推進に向けて活動。

「カーボンフットプリント起点の価値創造に向けて」

カーボンフットプリント（CFP）を単なる環境負荷の「見える化」の手段にとどめるのではなく、新たな価値を生み出す出発点として活用する可能性について、CFP情報を活かした製品・サービスの差別化やコスト削減事例などを交えながら紹介します。



講師

船倉 隆央 / 国立大学法人岡山大学
研究・イノベーション共創機構 産学官連携本部 副本部長

2012年経済産業省中国経済産業局入局、2022年から岡山大学へ出向。経済産業省での経験を生かしDX、GX、イノベーションをテーマに大学中心の中小企業支援スキームを各種構築。脱炭素分野に興味を湧いたことから岡山大学社会文化科学研究科博士前期課程へ進学、就学中。

◆ 会場アクセスマップ



※専用駐車場はありません。

お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

※お車でのお越しの際は、周辺の有料駐車場をご利用ください。

お問い合わせ

ゼロカーボン研究会運営事務局
(備前グリーンエネルギー・中国銀行共同企業体)

TEL : 0869-63-3600
Mail : bge@bizen-greenenergy.co.jp

※本事業は、岡山市が主催する「令和7年度ゼロカーボン研究会」の運営を、備前グリーンエネルギー・中国銀行共同企業体が受託し、実施しています。